

その1

「Truth or Territories」 By Jim Osman 「真理か領域か」

はじめに

はじめに キリスト教の世界では、靈的戦いほど、誤解や誤った思い込み、間違っただ情報、聖書に基づかない実践、神秘的で迷信的な信仰などで曇っているテーマはありません。

そのため、このテーマは、特定の実践方法や技術、あるいは現代の慣習に投資している人々から、情熱的で激しい反応を示すことがよくあります。

私が牧師を務める教会の礼拝でエフェソの信徒への手紙6章を説教しているとき、私はこの章の途中で4週間をかけて、聖書のさまざまな箇所から靈的戦いについて聖書が述べていることを紹介しました。

「誤った戦い」というタイトルのメッセージでは、人気作家のニール・T・アンダーソンの言葉を引用して、誤った戦いの例を紹介しました。

靈的戦いのある側面に対する間違っただアプローチの例として、人気作家のニール・T・アンダーソンの言葉を引用しました。

説教の後、教会を訪れたある女性が、会員である別の女性のところに行って、「あなたはこの教会から出ていかなければなりません。この人は異端者です。この人は異端です！異端を教えているのです。」

この方は、ニール・T・アンダーソンの著作や教えに深く傾倒しており、私が彼の教えのいくつかを批判したことで、彼女の中では私が「異端者」になったのです。明らかに、これは一部の界限では非常に物議を醸し、加熱されたテーマです。

靈的戦いは非常に人気のあるテーマです。アマゾンで「靈的戦い」を検索すると、2,700以上の商品がヒットします。

これだけの数を消化するのは大変だと思われるかもしれませんが、わざわざこの言葉をグーグルで検索して、インターネットで提供されているすべての情報を整理しようとする必要はありません。

私たちが巻き込まれている靈的な対立について知りたい人は、どこに答えを求めればいいのでしょうか。

この問題についての本を探しても、非常に混乱した水の沼に入ってしまうでしょう。

また、ニール・T・アンダーソン[2]の非聖書的な教えを読んでしまう可能性もあります。

アンダーソン [2] の非聖書的な教えを手にするのと同じように、チャールズ・スパージョンのより聖書的なものを購入することになるでしょう。

霊的戦いについては、何百人もの著者から十数種類のアプローチがなされています。

このテーマについての教えは、常に飢えているのです。

クリスチャンは、老若男女を問わず、新しい人もベテランの人も、天使と悪魔について知りたがっています。

聖書に書かれている天上での霊的な戦いについて知りたいのです。

その欲求を満たすために、悪魔からの解放、罪に対する勝利、霊的戦いでの勝利を約束する本や教えが後を絶ちません。

これから紹介するように、キリスト教界で教えられている霊的戦いに関する内容の多くは、聖書には全く書かれていません。

その多くは、異教的で迷信的なナンセンスなものです。

その多くは、聖書の文脈から切り離され、ねじ曲げられた聖句に依拠した、明らかに聖書に反する手法で構成されています。

中には、私たちが教えられたり、説教を聞いたりしたことを、聖書で検証したことの無い純粋な伝統もあります。

この分野では誤りが蔓延していますが、それは偶然ではないと私は思います。

私たちの魂の敵は、聖書に基づかない、利益にならない、非生産的な方法論で、私たちが道から外したり、つまづかせたり、気をそらせたりしたいと思っています。

もしサタンが真の聖書的な霊的戦いについてクリスチャンを誤解させることができれば、そのクリスチャンの効果を無力化し、事実上、戦いから完全に遠ざけることができます。

これは、サタンが神の民を混乱させ、誤解させ、欺くことに既得権を持っているテーマです。

したがって、このテーマは、識別力と明確な聖書的思考が切実に必要とされるテーマです。

このテーマに対する人々のアプローチは、否定から妄想まで、無関心から熱心まで、様々です。

サタンの存在を否定する人もいれば、あらゆる茂みや石の下に悪魔がいると考える人もいます。

また、悪魔のことで頭がいっぱいで、悪魔と戦ったり、サタンを束縛したり、呪いを放棄したりする

以外の時間がほとんどない人もいます。

目に見えない世界の活動について何も考えていない人もいれば、目に見えない敵に常に脅かされ、恐れ、恐怖を感じながら生活している人もいます。

霊的戦いの実践の領域では、正統派から不条理なものまで、さまざまな視点からのアプローチが可能です。

なぜ、霊的戦いの本が必要なのでしょうか？

私は、聖書には真の霊的戦いが書かれていると信じています。

多くのクリスチャンは、霊的戦いとは何か、どのように戦うべきかについて、十分に機能した理解をしていないと思います。

クリスチャンの間では、あまりにも無意味なことが教えられているので、神の民が混乱しているのも不思議ではありません。

この問題に関する多くの教えは、聖書に基づいておらず、聖書やキリスト教のものというよりも、異教の神秘主義に近いものです。

私は、この本に費やされた時間とエネルギーが、効果的な霊的戦いを行うためのガイドとして、神の教会に聖典を呼びかけるために使われることを願い、祈っています。

私たちは、聖書に向かって、「効果的な霊的戦いをするためには、何をすればよいのか」と尋ねなければなりません。

私たちがこの質問をして、聖書に語らせるとき、私たちは異教的な神秘主義、信仰のない迷信、そして悪魔への恐ろしい偏愛を避けることができます。

私たちは、異教の神秘主義、信仰のない迷信、悪魔への恐ろしい関心を避けることができます。

この本は、あなたの考えを広げ、いくつかの伝統に挑戦し、私たちが聖書に基づいた霊的戦いの神学を構築しようとするときに、私たちのために新しい土地を耕すことができると信じています。

私たちは、伝統、迷信、神秘主義、私たち自身の考え、さらに悪いことには悪魔自身の証言が、神学の土台としては非常に不十分であることを知るでしょう。

個人的な旅

霊的戦いは、私が長い時間をかけて格闘してきたテーマの一つです。

私は、信者になったばかりの頃に教わったことや吸収したことの多くを捨てなければならないとい

う、ある種の改革を経験しました。

個人的な証しは、まさに個人的なものであると理解しています。

それらは客観的ではありません。

逸話に過ぎないのです。

私たちは、自分自身のものであれ、他の人のものであれ、個人的な証言に基づいて神学を構築すべきではありません。

私たちは、霊的戦いについての理解を、聖書と聖書だけに基づかなければなりません。

私自身の話は、聖書に基づかない、人の手で作られたすべての慣習を拒否する必要性を説明するのに役立ちます。

神に救われた時、私は聖書について何も知りませんでした。

いくつかの聖句は暗記していましたが、聖書の本の背景や教えについての知識はごくわずかでした。聖書大学に行く前は、定期的に教会に通っていましたが、十分に教えを受けていたわけではありませんでした。

聖書大学では、さまざまな教えや習慣に触れることができました。

私の霊的戦いの神学を形成したのは、教室で教えられたことではなく、他の学生との会話や時間の中で得たものでした。

学生の中には、さまざまなバックグラウンドを持った人がいます。中にはカリスマ的な人もいて、“パワーエンカウンター”や“エクソシズム”に触れたことがある人もいました。

スタッフや先生の承認の有無にかかわらず、ある種の本やテープが学生たちの間を回っていました。

教えやすく、熱心で、野心的な若者たちは、キリスト教的な香りがするものなら、聖句に照らし合わせて吟味することをやらずに、ほとんどすべてを飲み込んでいました。

私たちは、熱心さには溢れ、情熱には溢れていましたが、見識には乏しかったのです。

私は、学生たちが、いばらの垣根を祈ること、悪魔を名指しすること、過去の世代の呪いを放棄すること、サタンを縛ってはねつけることなどの実践を推進しているのを聞きました。

中には、悪魔祓いをサタンとその軍勢に対する正当な戦い的手段として推奨している人もいました。

私はクリスチャン人生で初めて、クリスチャンが悪魔に取り憑かれている可能性があると感じている人たちに会いました。

ニール・T. アンダーソンの本や教えは、本棚や寮でよく見かけるようになりました。

彼が実践していることの多くは、学生の間で採用され、推進されていました。

フランク・ペレットティの『This Present Darkness』と『Piercing the Darkness』という2冊のキリスト教小説が、キリスト教界に火をつけていました。

この2冊の本は、一部の学生にとって、効果的な霊的戦いのマニュアルとして機能していました。

また、オカルトに傾倒している人たちの本も熱心に配られた。

マイク・ワーンクやレベッカ・ブラウンのような「元悪魔崇拝者」の本を読んだことがないのに、誰が悪魔との戦いに備えることができると思うだろうか。

霊的戦いの方法論として、ある祈りをすると愛する人が救われるというテープも手にしました。

それを望まない人はいないでしょう。

そのテープには、サタンを縛ること、代々の罪や呪いを放棄すること、悪霊を名指しして縛ること、いばらの垣根を祈ること、人や場所や物にイエスの血潮を嘆願することなどの方法論が書かれていました。

暫くの間、私には全てが良く聞こえました。

私は祈りを捧げ、血を捧げ、悪魔を縛り、サタンを叱責し、霊的勝利と真の聖化への道を順調に歩んでいると思っていました。

私は本当の戦いをしていたのです。

そう思っていました。それと同時に、私は授業で、神の主権、サタンの限界、クリスチャン生活における聖化について聖書が教えていることを学んでいました。

長い間、私は自分の神学を区別することができませんでした。

教室で学んだことと、寮で実践したことがうまくかみ合わなかったのです。

誤解しないでいただきたいのですが、私はあらゆる物から悪魔を追い出そうとしているような奇抜なカリスマ的悪魔ハンターではありませんでした。

私は悪魔祓いをしたり、悪魔のビジョンを見たりすることはありませんでしたが、聖典とは一致しない悪魔の神学を身につけていました。

私が授業で学んでいた聖書の内容と、寮で他の本や学生から学んでいた内容が一致していないことに、ようやく気づく日が来ました。

私の考えを変えるきっかけとなったのは、4年生がキリスト教生活の授業で学んだことについて話しているのを耳にしたことでした。

その授業では靈的戦いが取り上げられていました。

彼らは、今まで考えたこともないような驚くべきことを学んでいると話していました。

突然、彼らの中でピースが組み合わさり、長い間信じてきたことが間違っていたことに気付いたのです。

それはとても馬鹿げていて、聖書や聖典とはかけ離れているように思えました。

彼らは、多くの迷信や恐れから解放されたと話していました。

私が大好きで尊敬していたある学生が、「サタンを縛る」というのは聖書に反する行為だと言っているのを聞きました。

「なぜそんなことを言うのですか？」

と私は尋ねました。

彼は、靈的戦いの授業で学んだことを私に話し始めました。

私は、彼が私に話してくれたことは、私が授業で学んだものの、実践したことのない視点や世界観であることに気づきました。

私はそれを聞いて、いくつかの議論や質問をしました。

彼に反論しようとしたわけではありませんが、もう少し情報が欲しかったのです。

彼が話していたことはとてもシンプルで、実用的で、そして何よりも聖書的なものでした。

彼の言っていることは、私が授業で学んだことと矛盾していませんでした。

徐々に光が差し込んできて、自分の考えに矛盾があることがわかってきました。

私は、他の4年生に質問をし始めました。

最後に、彼らの一人が「本を読めばいいんだよ」と言いました。

“何の本？ どうやったらその本を手に入れられるんだ？”

“彼の勧めで、私はキャンパス内の書店に行き、トーマス・アイスとロバート・ディーン・ジュニアの『A Holy Rebellion』を買いました。

私はこの本を夢中で読みました。短期間にほぼすべての章を読んで、読み直しました。

聖書と比較してみたところ、私が以前から持っていた靈的戦いの神学とは異なり、この本は私が聖書から学んでいることと一致する視点を提供していることがわかりました。

私はそれに反論できませんでした。

そうだ、その通りだ。

そうだよね。どうしてそれに気づかなかったのだろう？

どうして気づかなかったんだらう？

“この数ヶ月の間に、私は自分の考えを根本的に改めることになりました。

靈的戦いの分野では、聖書だけが私たちのガイドとなることを理解しました。

靈的戦いに対する神秘的で迷信的なアプローチから解放されたのは、まるで光が差し込んだかのように突然でした。

それまで聖書に基づいていると思っていたことが、愚かなことだと分かるようになりました。

すべてが理解できるようになったのです。

この本を読まれた方の中には、ずっと以前に悪魔への偏愛から解放された方もいらっしゃると思います。

私と同じように、本当の靈的戦いとは、サタンに征服された領域を取り戻すために、悪魔と手を取り合って戦うことだと思っていた人もいます。

かつて、あなたの靈的戦いに対する考え方は、私がこの本で紹介しているものよりも、フランク・ペレットィの『This Present Darkness』と共通するものがあったでしょう。

あなたはそれをすべて捨て去ったのでしょうか。

聖書の教えにより、何らかの方法で、本当の靈的戦いは領土ではなく真実であることを理解するようになりました。

私は、あなたがこの本を読んで、励まされ、肯定され、整えられることを信じています。

この本を読んだ人の中には、私がかつてそうだったように、靈的戦いとはサタンから領土を奪い返すことだと教えられてきた人もいます。

いばらの垣根を作るように祈り、悪霊を名指しし、サタンを縛るようにと教えられてきました。あなたは、これらのことをよく考えたことがないし、自分の考えに挑戦したこともないでしょう。

これらのことが聖書で教えられていないという事実は、あなたにとって全く新しいことでしょう。

あなたは、前提条件やその結果としての実践に疑問を持ったことがありません。

私が言うことの多くはあなたに衝撃を与えるでしょう。

私のために一つのことをしてください：聖書によってすべてをテストしてください（使徒17：11）。

聖書に行って、私が聖書の本文から述べていることが真実かどうかを確認してください。

正しく解釈してください。十分な注意を払ってください。

よく考えてみてください。

私が言うことも、あなたが信じることも、すべて吟味し、試してください。

真理は勝つでしょう。

この本を読む人の中には、サタンを縛ること、血を嘆願すること、生け垣を作ること、縄張り意識を持つ霊、悪魔の名前を挙げること、世代間の呪いなどを知らない人もいます。

このようなことは、あなたにとって初めてのことです。

その場合、私のために一つのことをしてください。

それは、すべてのことを聖句によってテストすることです（使徒17：11）。もしあなたがこれらのことを聞いたことがなければ、きっと聞くことになるでしょう。

不意を突かれたり、騙されたりしないように、これらの事柄について聖書が教えていることをよく考えてみる必要があります。

ある人は励まされるでしょう。

ある人は、古い考え方から、今まで考えたこともなかったような霊的戦いへの新しいアプローチに解放感を覚えるでしょう。

中には、できれば少数ではありますが、自分の好きな先生が攻撃され、自分の見識が疑われたと感じ、怒りを覚える人もいます。

中には、私が悪と戦うための最も貴重な道具を奪おうとしているのではないかと感じる人もいます。

そんなことはありません。

実際には、私は皆さんに聖書の道具を装備して、共に「悪の日に抵抗する」（エペソ6：13）ことができるようにしようとしています。